

第2日目 6月28日(日)

9:10~10:10 セッション2A

座長：仲谷 誠（武蔵野赤十字病院精神科）

2A-1 スタンリー・キューブリック論 または私は如何にして彼のドリー撮影と
自閉症児の電車好きが関係していると悟ったか

小林 陵（横浜市立大学附属病院）

2A-2 ジャン・ユスターシュ「不愉快な話」の構造分析

丸谷 俊之（東京工業大学 保健管理センター）

2A-3 ポール・トーマス・アンダーソン監督の中心気質的な映画

濱田 伸哉（すずろメンタルクリニック）

10:15~11:15 セッション2B

座長：妙木 浩之（東京国際大学）

2B-1 ライナー・ヴェルナー・ファスピンダーの生涯と作品

大島 一成（大宮厚生病院、東京医科歯科大学精神行動医科学）

2B-2 タデウシュ・カントルの演劇に見る「反復」と「双数性」

番場 寛（大谷大学 文学部国際文化学科）

2B-3 金春禅竹の能「定家」を読む

河崎 博（穂積すこやか診療所）

11:20~12:20 セッション2C

座長：松浪 克文（晴和病院）

2C-1 オディロン・ルドン 一眼の誕生—

松田 真理子（京都文教大学大学院 臨床心理学研究科）

2C-2 「ケプラー伝記」

早野 泰造

2C-3 アンセルムスとデカルト 4 神の存在証明

高野 良英（元聖路加国際病院精神科）

12:30~13:30 ランチョンセミナー2

黒澤映画の魅力を語る—病跡学の視点から—

演者：柏瀬 宏隆（松見病院）

司会：中谷 陽二（クボタクリニック）

共催：社会福祉法人新樹会 創造出版

13:30~14:00 総会

14:00~15:00 セッション2D

座長：庄田 秀志（国立病院機構 小諸高原病院）

2D-1 ジャン・アメリー 回復の病跡学

渡邊 良弘（新潟医療福祉大学）

2D-2 読むこと、書くこと、出来事：Joe Bousquet

佐藤 晋爾（埼玉県立大学 保健医療福祉学部精神医学）

2D-3 フランツ・カフカと中島敦 — 「変身」をめぐる早世の同時代人—

細川 清（原尾島クリニック・心療内科）

15:10~17:30 メインシンポジウム

「ポストヒューマンの病跡学」

司会：鈴木 國文（名古屋大学）

香山 リカ（立教大学）

■ 21世紀少女・少年

村田 智子（名古屋芸術大学）

■ 「普通精神病」あるいは「自閉症」の時代の創造性
—後期ラカン理論の見地から—

松本 卓也（朝日病院、自治医科大学精神医学教室）

■ 自閉症スタイル

神尾 陽子（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
児童・思春期精神保健研究部）

■ ホモクリット（普通の人）の病跡学

村井 俊哉¹⁾、山岸 洋²⁾

(¹⁾ 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学、²⁾ 北野病院)

17:30

閉会挨拶